



宇治市機関
発行所 宇治市役所
京都府宇治市宇治160-1
発行人 奥村源三

第二回追加更正予算は 自主再建への本格的調整

追加更正額 二八、二一〇千圓
(内純市費 五、六三二千圓)

豫算額通計 三二七、七六二千圓

さきの宇治市議会九月定例会において、本市の財政再建計画が議決され、それに引き続きこの自主再建計画に基き追加更正予算が議決された。

市の昭和三十一年度当初予算は、何れその後の財政再建計画に適合する追加更正が約束されているが、先きにその再建計画が決定したので、それに伴い、今回予算の補正が行われた次第である。したがってこの追加更正予算は、右の再建計画に基き補正を第一とし、それに若干の新規事項が加わっているものである。

一般会計に係る 追加更正予算

本予算は、本年五月の当初予算二一〇、四五一、三三〇圓に、前年度繰上充用金(赤字額)七九、一〇〇、〇〇〇圓が追加され、二八、二一〇、〇〇〇圓となつていた現計予算に、更に今回二八、二一〇、三六六圓を追加更正し、本年度予算現計は三二七、七六二、六六六圓となつた。

(歳出の部)

第一にこれを経費別に見ると、普通建設事業及び災害復旧事業等の事業費、すなわち投資的経費に、二八、二一〇、三六六圓の追加更正額が、その小規模な事業費を含めた消費的経費に、三、〇八九、七五〇圓の追加更正額が、公債費等のその他の経費に、一、五二一、二一六圓を追加更正した。その結果追加更正後の予算現計額は

追加更正予算主要項目(2)

款別	項目	追加額
1 議会費	市議会議事録印刷費追加	38,000
2 市役所費	郵便電信料等追加	200,000
	自動車庫新築	500,000
	市共済組合補助等	89,000
	府警駐在所電灯、瓦斯料金負担	40,200
4 消防費	小型動力ポンプ二台購入	500,000
	貯水槽二ヶ所構築	200,000
	消防ジブファイタ取付	80,000
5 土木費	琵琶町夜間救急工事費	220,000
	用地買収	70,000
	隠元橋復旧工事負担金追加	1,700
	井川暗渠改築工事	50,000
	黄瀬川区下水道工事	130,000
	労災保険料追加	46,931
	災害土木費	30,000,000
6 教育費	教材国庫負担品(小学校)	514,906
	〃 (中学校)	379,578
	就学困難児童教科用図書購入	54,000
	荒道小学校水道修理工事費	140,000
	宇治小学校図書電灯線引込工事費	30,000
	荒道小学校給食室瓦葺工事費	220,000
	東宇治中学校校舎敷地買収	1,000,000
	横庭公民館修理費等	64,000
	西宇治中学校建築費減	△ 13,348,400
7 社会及労働施設費	生活保護費関係補助金決定に伴う追加更正による増	89,410
	身体障害者福祉関係更正医療費追加	143,400
	宇治保育所瓦葺引込工事費	78,100
8 保健衛生費	伝染病院臨時看護婦賃金	15,000
	伝染病患者細菌検査委託料	16,340
	生活保護受給者伝染病入院中扶助費	5,140
	結核予防接種薬品代追加等	47,950
	グスター修理費	20,000
9 産業経済費	水稲播種一斉防除費	80,000
	日レ工奨励奨励金追加	500,000
	災害復旧費	3,000,000
10 文化観光費	水族館建築費追加	500,000
	茶室建築費	298,000
	駐車場事務所建築費	150,000
11 財産費	赤字解消立金引当減	△ 15,000,000
	登記簿料 保険料等追加	46,722
12 統計調査費	就業構造基本調査費等	{ 11,130 3,500 }
13 選挙費	参議院公明選挙啓蒙費	4,000
	市会議員繰上補充選挙費	1,550
	巨椋池土地改良区総代選挙費	53,910
14 徴税費	諸印刷費追加	81,900
	特別徴収報償金追加	72,500
	徴収関係諸経費	49,900
15 公債費	公債費追加元利償還金	1,030,192
	〃 一時借入利息	1,713,000
16 諸支出金	特別会計繰出金減	△ 800,000
	四ツ池埋立に伴う農作物賠償金	85,000
	駅前地下ケーブル賠償金	35,000
	28年度農地復旧委託費	49,000
	過年度税過納金償還金追加	50,000
	30年度酸性土壌改良事業補助金	25,490
	赤字解消補填金	15,047,000

予算一覧表(1)(歳出)

款別	既決予算額	追加更正予算額	現計額
1 議会費	3,868,072	38,000	3,906,072
2 市役所費	43,334,225	806,400	44,140,626
3 監査防木費	651,389	0	651,389
4 消防費	6,326,590	780,000	7,106,590
5 土木費	7,127,130	30,482,631	37,609,761
6 教育費	57,895,763	△ 11,017,116	46,878,647
7 社会及労働施設費	39,386,500	343,610	39,730,110
8 保健衛生費	5,809,591	95,241	5,904,832
9 産業経済費	4,197,500	3,580,000	7,777,500
10 文化観光費	2,840,320	978,000	3,818,320
11 財産費	17,406,600	△ 14,945,378	2,461,222
12 統計調査費	119,000	14,630	133,630
13 選挙費	863,990	71,460	935,450
14 徴税費	2,960,970	274,300	3,165,270
15 公債費	14,468,239	2,743,192	17,211,431
16 諸支出金	81,295,450	14,504,372	95,799,822
17 計	1,000,000	△ 468,976	531,024

ホ、電気ガス税自然増
一、〇〇六、〇〇〇圓
ヘ、測定及び徴収見込補正減
△七、四八四、三三九圓
ニ、分担金及び負担金
三〇、〇〇〇圓
ホ、農地及農業施設災害復旧事業
地元負担金
三〇〇、〇〇〇圓
三、使用料及手数料
三八二、八〇〇圓
諸手数料自然増
三八二、八〇〇圓
四、国庫支出金
二九、六九三、九七二圓
イ、身体障害者福祉費負担金
一、四四七、七二〇圓
ロ、小学校教材費国庫負担金
二五七、四三三圓
ハ、中学校教材費国庫負担金
一八九、七八九圓
ニ、西宇治中建築費補助一部減
△二、五二一、二〇〇圓
ホ、就学困難児童教科用図書購入補助
五、四〇〇圓
ヘ、土木災害復旧国庫補助金
二八、七八九圓
ト、農地及農業施設災害復旧費補助金
二、七〇〇、〇〇〇圓
チ、就業構造基本調査交付金
一、一三〇圓
リ、参議院議員選挙委託費交付金より組替
三九四、〇八〇圓
ス、選挙啓蒙宣伝委託費
四、〇〇〇圓
五、府支出金△三〇四、〇七七圓
イ、生活保護事務費補助金追加
四四、七〇五圓
ロ、伝染病予防費補助金
二九、三一八圓
ハ、結核予防接種補助金
一五、九八〇圓
ニ、参議院議員選挙費交付金組替減
△三九四、〇八〇圓
六、雑収入
七五一、九一〇圓
イ、延滞金等の増収
四〇〇、〇〇〇圓
ロ、巨椋池土地改良区総代選挙委託金
五三、九一〇圓
ヘ、その他の雑入
二九八、〇〇〇圓
七、市債
△七、二七四、四〇〇圓
イ、西宇治中学校々舎建築費の一部減
△九、一七四、四〇〇圓
ロ、過年度補助災害復旧債
一、二〇〇、〇〇〇圓
ハ、消防施設債
七〇〇、〇〇〇圓
ニ、寄附金
一〇〇、〇〇〇圓
ホ、荒道小学校給食室ガス設備工事寄附金
二八、二一〇、三六六圓
計 以上

特別会計の更正豫算

市財政再建計画により、一般会計から水道特別会計への繰出金は減額する方針が執られ、取敢えず昭和三十一年度は、現計予算額、一、八〇〇、〇〇〇圓を、一、〇〇〇、〇〇〇圓として八〇〇、〇〇〇圓を減額した。即ちそれに伴う今回第一回更正は、

歳入において
一般会計よりの繰入金一部減
△八〇〇、〇〇〇圓
学校関係直営給水工事納付金等の増収
三五五、〇〇〇圓
差引歳入減
△四四五、〇〇〇圓

歳出は受電変電工事による節電による光熱水費の節減
△一〇〇、〇〇〇圓
給水大工事の見込補正減により工事請負費一部減
△二〇〇、〇〇〇圓
電気ガス税の免除による公課費一部減
△一四五、〇〇〇圓
計 以上

となり、現計予算額八、五〇一、〇八四圓が、八、〇五六、八四四圓に更正せられた。

▲木曜日 ラジオ京都 午後五時五分
▲金曜日 NHK京都 OK 午後二時三十分

放送で市政だより

宇治市財政状況

(昭和三十一年九月三十日現在)

宇治市告示第十九号

地方自治法第二百四十四条及び宇治市財務条例第一条の規定により昭和三十一年九月三十日における宇治市財政状況を次のように公表する

昭和三十一年十一月六日

宇治市長 池本甚四郎

一、財政状況

戦後、地方分権の強化により完全自治体となつた市町村の権限は急激に膨張し、これがため国の仕事が大巾に市町村に委譲されたが、その行政事務量の必要とされる諸経費の額は、昭和二十五年における地方財政制度の大巾な改革によつて財政強化の策は一応講ぜられたが、なおその額に満たされざるものでなかつたため、数年を経つて市町村負担の過重が顕著に現われ、相次ぐ国の施策も直らにはその効を奏するところとならず、地方財政は窮乏の一途を辿るところとなつた。

このような全国的傾向のうち、本市もまたその例に洩れないのみか、更に昭和二十八年の十三号台風による災害復旧事業の経費負担増加、又その他市政運営上の事情もあつて一層の財政危機に陥つたのである。二十九、三十一年の予算編成に際し、このような事態に対応し、昭和三十一年度の予算編成にあたり積極的な歳入の節減と、歳入の増収に努め、一貫した堅実財政を堅持し、又早くも文字通り自主の四ヶ年再建計画を樹立して市政の恒久健全化の第一歩を踏み出した。その結果は、同年半度に於て収支黒字額五千五百円の決算を見るにいたり、過去の赤字累積額の一部解消の端を開き、赤字残高を七千三百万円に減少せしめたのである。

昭和三十一年度に入り、昭和三十年度の基本方針を継続するは勿論、恰も政府の新再建特別措置法に則り自主再建方式に依る五ヶ年再建計画を決定し、その新第一年度として再建コースを邁進している。

二、本年度上半期の財政状況

1、前月末における歳出各款毎の使用状況(別表第一)

歳出決算額三、七六二、二〇〇円に対し、支出済額は一四三、七五九、九四〇円、その比率は四三・二％である。その内の主なものは、諸支出金(前年度繰上充用金を含む)市役所費、徴税費で、前年度繰上充用金を除いた実質執行率は、二二・〇％である。

2、前月末における歳入各款の収入状況(別表第二)

主として市税収入(予算額に對して四九・五％)である。一般会計においては、豫算執行に當つて、毎四半期毎に豫算の割當配分計画を樹て、執行を規制し、常に歳入と歳出とを見合せ、特定財源を伴う支出は、その財源の収入が確保されるまでは執行を止め、収支の均衡を保つていゝ。その為収入率の二七・六％に對し、歳出実質収入率は二二・〇％で聊か低調ながら健全な執行状況を示しており、これら各種事業の執行は、大部分が下半期において実施される豫定である。

3、水道事業特別会計について(別表第三)

主要財源である使用料の収入の低減と、一般会計よりの繰入金減少にて、財政運営は一段と窮乏の兆がある。

使用料については、滞納分の徴収強化に努めるは勿論、新規利用者の拡張に力を注いで完全徴収を図り、一般会計よりの繰入金の減額、これを機会として一層の経営合理化を図り、下半期にその実効を期待している次第である。

4、前月末現在の財産、公債及び一時借入金(別表第四)

土 地 五五、八五七坪

二、本年度上半期の財政状況

1、前月末における歳出各款毎の使用状況(別表第一)

歳出決算額三、七六二、二〇〇円に対し、支出済額は一四三、七五九、九四〇円、その比率は四三・二％である。その内の主なものは、諸支出金(前年度繰上充用金を含む)市役所費、徴税費で、前年度繰上充用金を除いた実質執行率は、二二・〇％である。

2、前月末における歳入各款の収入状況(別表第二)

主として市税収入(予算額に對して四九・五％)である。一般会計においては、豫算執行に當つて、毎四半期毎に豫算の割當配分計画を樹て、執行を規制し、常に歳入と歳出とを見合せ、特定財源を伴う支出は、その財源の収入が確保されるまでは執行を止め、収支の均衡を保つていゝ。その為収入率の二七・六％に對し、歳出実質収入率は二二・〇％で聊か低調ながら健全な執行状況を示しており、これら各種事業の執行は、大部分が下半期において実施される豫定である。

3、水道事業特別会計について(別表第三)

主要財源である使用料の収入の低減と、一般会計よりの繰入金減少にて、財政運営は一段と窮乏の兆がある。

使用料については、滞納分の徴収強化に努めるは勿論、新規利用者の拡張に力を注いで完全徴収を図り、一般会計よりの繰入金の減額、これを機会として一層の経営合理化を図り、下半期にその実効を期待している次第である。

4、前月末現在の財産、公債及び一時借入金(別表第四)

土 地 五五、八五七坪

5、前月末における税目別市税徴収状況(別表第五)

市税は歳入の大宗であつて、その収入の如何は、市民に直接関係の深い行政運営に多大の影響を及ぼしているが、その実績は別表に示すとおりで、以前よりはるかに改善されたが、向未満足な位の一層の援助と理解を切望する次第である。

十一月二日臨時市会

減税請願を採択

宇治市臨時市会は本月二日市公堂に開會し、地方交付税および土木災害復旧国庫負担金の決定による追加更正豫算二千二百萬一千七百五十六圓を上提可決した。これは去る九月六日の市会に再請願は、去る九月六日の市会に再請願せられ、左の主旨の報告があり、本議決で採択され、減税請願は市民に交付された。一本市の市税が、本請願に云うところの担税能力が限界に達してゐるというように見受けられるが、課税率の不均衡や市財政の悪化、課税の趣旨は考慮するに至つたので採択すべきものと

別表3 特別会計水道事業 歳出各款支出状況 (単位千円)

科 目	当初予算額	追加予算額	現計予算額	支出済額	残 高	執行率
1 上水道費	6,125	△ 300	5,825	2,417	3,408	41.5%
2 公債費	2,306	0	2,206	1,103	1,103	50.0
3 諸支出金	160	△ 145	15	3	12	24.7
4 予備費	10	0	10	0	10	
計	8,501	△ 445	8,056	3,523	4,533	43.7

別表1 一般会計 九月末における歳出各款毎の使用状況 (単位千円)

科 目	当初予算額	追加予算額	現計予算額	支出済額	残 高	執行率
1 歳会費	3,868	38	3,906	1,731	2,175	44.3%
2 市役所費	43,324	807	44,131	21,093	23,038	47.7
3 監査費	651	—	651	298	353	45.7
4 消防費	6,327	780	7,107	2,757	4,350	38.8
5 土木費	7,127	30,483	37,610	4,627	33,037	12.3
6 教育費	57,895	△ 11,017	46,878	8,541	38,338	18.2
7 社会労働施設費	39,387	343	39,730	13,280	26,441	33.4
8 保健衛生費	5,800	95	5,895	2,762	3,133	46.7
9 産業経済費	4,198	3,580	7,778	916	6,863	11.7
10 観光費	2,840	978	3,818	1,588	2,230	41.6
11 財産費	17,407	△ 14,946	2,461	800	1,661	32.5
12 統計調査費	119	15	134	33	101	24.3
13 選挙費	864	71	935	532	403	56.8
14 徴税費	2,960	205	3,165	2,407	758	76.0
15 公債費	14,468	2,743	17,211	7,574	9,637	44.0
16 諸支出金	2,195	93,605	95,800	74,810	21,045	78.1
17 予備費	1,000	△ 469	531	407	124	23.4
合 計	210,451	107,311	317,762	143,759	174,003	45.2

別表4 九月末における財産

土地及建物	土 地	山林地	2,838反 55,857坪	有価証券 額 面
市基本財産	276,437			5,000円 日本勧業銀行株
学校基本財産	112,157			35,000 日本電信電話債
市職員退職年金	2,714,263			5,000 日本勧業銀行株
災害救助資金	173,879			21,000 宇治市森林組合
中小企業融資予託金	1,061,000			66,000 出資金
出 入 金	300,000			
寄 託 金	1,074,688			
計	5,712,424			

別表2 一般会計 九月末における歳入各款毎の収入状況 (単位千円)

科 目	当 予 算	初 追 加 更 正 算	現 計 算	調 定 額	収 入 額	未 収 入 額	調 定 額 に対する 未 収 入 率	現 計 算 に対する 未 収 入 率
1 市 税	142,523	4,550	147,073	153,187	72,862	80,325	47.5%	49.5%
2 地方交付税	0	0	0	0	0	0		
3 財産収入	262	0	262	109	99	10	90.5	37.8
4 分担金及負担金	1,080	300	1,380	229	138	91	60.2	10.0
5 使用料及手数料	6,557	383	6,940	3,389	2,600	789	76.7	37.5
6 国庫支出金	38,239	29,704	67,943	8,240	8,240	0	100.0	12.1
7 府支出金	2,167	△ 304	1,863	354	354	0	100.0	19.0
8 雑収入	1,249	752	2,001	2,513	2,485	28	98.8	124.2
9 市 債	18,374	71,826	90,200	700	700	0	100.0	8
10 寄 附 金	0	100	100	100	100	0	100.0	100.0
計	210,451	107,311	317,762	168,821	87,578	81,243	51.8	27.6

